

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 5 月 13 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 地域行政学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 5 月 4 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 8 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	南ユタ大学(日本語名) Southern Utah University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 4 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 芸術学部 現地言語での名称: Art ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月上旬～4 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 15,000 人
創立年	1897 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USドル) (1 現地通貨＝ 約 150 円)	B 日本円	備考
授業料	234.5ドル	円	プログラム履修費
宿舍費	3,290ドル	円	
食費	4,200ドル	円	
図書費	100ドル	円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	210ドル	円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		200,000 円	
旅費(留学中)		500,000 円	
被服費	200ドル	円	
医療費	12ドル	円	
保険費		95, 000 円	形態: 東京海上日動 10 ヶ月分
渡航旅費		200,000 円	
ビザ申請費		30,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	8,246.5 (=1,236,975 円)	1,025,000 円	
総計(A+B) ※円	2,261,975 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田国際空港 目的地：ハリーリード空港 経由地：サンフランシスコ国際空港

復路 出発地：シアトル・タコマ国際空港 目的地：羽田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：United Airline 料金：100,000

復路 航空会社：ANA 料金：100,000 ∴合計：200,000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：各空港会社のウェブサイト)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Cedar Hall North) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

学校からの案内メールに従って手続き

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私はルームメイトがほしかったのでこの寮にしましたが、一人部屋がほしい人は他の寮でもいいと思います。この寮のいいところは、学校から近いこと、比較的安価、ルームメイトと仲良くなれば友達も増えることです。逆に、一人部屋がないことがデメリットになる人もいられるかもしれません。また食堂のプランが地味に高いです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Health Clinic)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットで調べました。後は、現地に到着してから様子を見ました。シダーシティは日本と同じくらい安全だと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

WiFiの接続は比較的良好だと思います。ただ、一学期に一度くらい、電波障害がありました。

5) 現地で資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金 500ドルくらいを持って、後はクレジットカードで生活していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

自分の思い出のものとか、手紙とか、ちょっとしたお守りみたいなものを持って行くといいかもしれません。ふとしたときの安心材料になるかと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
29 単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Acculturation	文化変容
科目設置学部・研究科	留学生必修クラス
履修期間	秋学期
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回
担当教授	Jack Lunderby
授業内容	留学生が現地に慣れることを手助けするようなクラス。アメリカの文化について学ぶ。
試験・課題等	クイズが時々ある。期末試験のほかに、グループプロジェクトや個人の課題など。
感想を自由記入	ここで留学生の友達を作ることができたり、アメリカで生活する上で大切なこと(ビザのことなど)を学べたりします。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Photography		フォトグラフィー入門
科目設置学部・研究科	芸術学部	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 分が 回	
担当教授	Kimberly Mowbray	
授業内容	一眼レフカメラの使い方やフォトグラファーについて学ぶ	
試験・課題等	毎週のクイズとセクションごとに作品を撮影する課題	
感想を自由記入	カメラについて何も知らない状態からスタートしたが、マニュアルモードで一眼レフカメラを使えるようになりました。教授のフィードバックも丁寧で良いクラスでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology		社会学入門
科目設置学部・研究科	社会学部	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Matthew Eddy	
授業内容	労働環境や社会のコミュニティなどについて学ぶ	
試験・課題等	学期中に 3 回試験がある。課題はない。	
感想を自由記入	この教授は日本の研究もしているので、時々日本に関する内容も取り上げていました。他の国から見る日本を知ることができ、社会学自体の内容についても興味深かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Personal Cinema		パーソナル・シネマ
科目設置学部・研究科	映画学部	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	William Cowser	
授業内容	映画制作に関する基礎的な知識を学ぶ	
試験・課題等	一ヶ月に一回くらい映像制作の課題がある	
感想を自由記入	教授がカメラはスマホでいいし、マイクもいらない、というスタンスでどんなものでも映画は制作できるということを教えてくれたことがすごく良かったです。撮影の仕方から、動画編集ソフトの使い方まで丁寧に教えてくれました。また他の生徒の作品もクオリティが高く、良い刺激になりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Visual Communication Graphics		視覚的コミュニケーショングラフィック入門
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学部	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンデマンドと講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Brecklee Gale	
授業内容	グラフィックデザインのコミュニケーションツールとしての活用について学ぶ	
試験・課題等	毎週 1～2 つ課題やクイズがある。中間試験と期末試験がクイズ形式で行われる	
感想を自由記入	オンデマンドで行われるAdobeのプログラムの講義がとても面白かったです。毎週課題がありましたが楽しみながら取り組むことができました。また教授も気さくな方で授業も楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Advertising and Public Relations		広告と広報の入門
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学部	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Art Challis	
授業内容	広告の役割や広報について学ぶ	
試験・課題等	グループプロジェクトを中心に課題を進める	
感想を自由記入	教授が面白く優しい方だったのと、生徒との距離が近い方だったので楽しく授業を受けることができました。グループプロジェクトも実際に企画・宣伝などを模擬で行うものだったので楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Digital Tool		デジタルツール
科目設置学部・研究科	芸術学部	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 分が 回	
担当教授	Rian Kasner	
授業内容	Adobeのプログラムの使い方を学ぶ	
試験・課題等	毎週課題があり、期末プロジェクトがある	
感想を自由記入	Adobeについて何もわからずに始まったクラスでしたが、一つずつ教授が丁寧に教えてくれたので、オンデマンドでしたが基礎的な知識を身につけることができました。毎週課題に時間はかかっていましたが、クリエイティブな作業が楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
2-D Design		2Dデザイン
科目設置学部・研究科	芸術学部	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 105 分が 3 回	
担当教授	Drew Liedtke	
授業内容	2Dメディアの原則を元に作品を制作する。Drawingの授業ではなく、様々なメディアを使う。	
試験・課題等	学期中に 8 つほどのプロジェクトを制作する。	
感想を自由記入	2Dデザインの原則についてかみ砕いて教えてもらい、作品を制作しました。面白いものを求められつつ、制作に伴う指示に従ってプロジェクトを進めました。この授業では、他の生徒の作品のレベルが高く、刺激をたくさん受けた良い授業だったとおもいます。ただ教授の採点は厳しめでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Documentary Filmmaking for Sociology		社会学におけるドキュメンタリー映画制作
科目設置学部・研究科	社会学部	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Matthew Eddy	
授業内容	ドキュメンタリー映画を制作する	
試験・課題等	学期のはじめから最終課題のプロジェクトを進める。	
感想を自由記入	3000 番台の授業だったのでそれなりに負荷はあったが、興味のある授業だったので無事に単位を取ることができました。教授もこまめに進捗状況などを気にかけてくれ、アドバイスも一人一人に丁寧にしていたので、とてもいい授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Video Production		動画製作
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学部	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Bill Kershisnik	
授業内容	テレビ番組の製作に関して、カメラや照明の使い方について学ぶ	
試験・課題等	学期中に 3 回ほどプロジェクトがある	
感想を自由記入	実際に大きなカメラや照明を使う授業があり、実践的でためになる授業でした。しかし、授業内での発言をほぼしなかったため、授業貢献度を大きくマイナスされてしまいました。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

なし

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	TOEFLの勉強
	8 月 ～ 9 月	TOEFLの受験
	10 月 ～ 12 月	面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	履修登録、書類の準備
	4 月 ～ 7 月	書類、ビザの準備
	8 月 ～ 9 月	渡米、授業開始
	10 月 ～ 12 月	授業、秋学期終了
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	春学期開始、授業
	4 月 ～ 7 月	春学期終了、5 月帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

日本へ帰国する帰りの飛行機で、この留学を振り返ったときに、私はとてもいい経験をしたなと心の底から思いました。ずっと目標だった留学。不安がほぼないままアメリカに到着して、目に映るものが全部新鮮でキラキラしていて、わくわくしていたのを覚えています。留学前、「おそらく自分はアメリカでさらにレベルアップした人間になるだろう」と謎に自分への期待をたくさん持っていました。実際、様々な経験を経て、レベルアップした自分に会えた、留学前の自分の期待を裏切らなかった、と思います。

私から、これを読んでいる人へのアドバイスとしては、「少しでもわくわくするならやってみる！」ということです。どれだけ想像しても、留学報告書を読んでも、実際の経験には及びません。もし、自分の中に少しでもわくわくの気持ちがあるのなら、そこに飛び込んでみる価値は絶対にあります。

南ユタ大学は私の第一希望ではありませんでしたが、今、南ユタ大学での留学を終えて、ここで良かったと思っています。シダーシティはみんなが口をそろえて何も無い田舎だと言うし、南ユタ大学は大きな大学ではありませんが、自分の行動次第でいくらでも楽しむことができます。私がこの大学のいいなと思うところは、人とのつながりが大切にされているところです。大切にされている、というよりは、自分が大切にすることで、何倍もそこでの生活が豊かになります。ラスベガスみたいに娯楽施設がたくさんあるわけではないけれど、授業終わり友達みんなでおしゃべりをしたり、バレーをしたり、UNOをしたり、図書館で一緒に勉強したり、散歩したり、そういう何気ない日常、なんてことないみんなと過ごす時間が、私にとっては、どんな娯楽施設にも代えられない、とても尊く、大好きな時間でした。また、一人で時計台の裏の芝生でのんびりしたり、図書館で本を読んだり、散歩したり、自分の時間も充実させることもできます。どこの大学も同じかもしれませんが、やっぱり、自分から楽しみをつかみに行くことが留学生生活を充実させるキーになるかなと思います。シダーシティはなににもないので余計に…。

この約 10 か月の経験は何にも代えられなかったし、ここには書ききれないので、もし気になることがあれば、メールアドレスなどから私に連絡してみてください^^